

## 2年生 健康栄養学科 健康スポーツ栄養専攻 専門教育ガイダンス 資料

## 1. 卒業要件について (p.2)

□要卒単位：卒業要件を満たすためには、4年以上在学し、以下の単位数以上を修得しなければならない。

対象	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
	必修	選択	合計	必修	選択	合計	
2019年度入学生	10	20※1	30	63	35	98	128

※1 選択必修4単位を含む

## 2. 履修登録について

□カリキュラム (p.54-58)、開講科目表 (p. 337-342)

□履修登録単位上限 (p58)：1年間に履修登録できる要卒科目の上限は48単位。

自由科目に関しては、上限を超えて認めることがある(例：教職課程の履修)。→教務委員に相談

□履修登録 (p.4)：今年度履修する前期・後期全ての科目を前期履修登録期間内に光華 navi で一括登録。

後期開講科目の追加・変更は、後期の履修登録期間で可能。

登録した科目の履修を取り消す場合は、履修登録取消期間内に行うこと。

前期履修登録期間：4/13(月)～4/24(金) 後期履修登録期間：9/18(金)～9/27(日)  
 前期履修取消期間：4/28(火) 後期履修取消期間：9/30(水)～10/1(木)

## 3. 授業・時間割について

□授業および試験 (p.7-12)：授業時間、休講、試験(受験資格、定期試験、追試験、再試験)

※但し2020年度前期は、通常授業(15回)内に試験やレポートの提出を課すため、定期試験期間および追試験期間を設けない

□時間割(A4版)：基礎・教養科目の必修科目、クラス指定がある選択科目、専門科目、教職関連科目が記載されている。実験・実習科目は、A3版の時間割表にしたがって登録。

例) 前期・月曜3～5限の実験・実習 ※実際の授業はA4版の時間割のとおり

3限 食品学実験Ic、4限 食品学実験Ic、5限 調理実習応用e

□時間割作成：「基礎・教養科目や専門科目の必修科目」→「教職に関する科目」→「基礎・教養科目や専門科目の選択科目」の順に時間割を組み立てること。

□集中講義：時間割表欄外に記載。必要な科目の登録を忘れないこと。

□再履修科目 (p.4)

・不合格になった必修科目は、原則として次年度において必ず再履修しなければならない。時間割上重複する場合は、2年生科目を優先して履修する。

・専門科目を再履修する場合、クラスは問わない。基礎・教養科目の再履修については、履修不可のクラスがあるので、教務委員に確認すること。

・1年生科目の再履修のため、やむを得ず2年生科目の履修クラスを変更する場合は、必ず履修登録の前に教務委員に相談すること。

#### 4. 基礎・教養科目の履修上の注意

- 基礎・教養科目：2年生で卒業要件（30単位）を満たしているか確認すること。  
「インターンシップ」の履修にあたっては、p.5を参照のこと。

#### 5. 専門科目、資格関連科目の履修上の注意

- 専門科目：卒業要件を確認し、不足する選択科目の単位を計画的に取得すること。
- クラス指定科目：専攻内でクラス指定がある科目については、各自のクラスで登録。
- 資格関連科目
  - ◇栄養士（p.206）：栄養士取得のための選択科目が8単位あることに注意。
  - ◇教職課程（p.152,153,183-185,189-195）：栄養教諭2種、中学校・高等学校1種（保健体育）  
・教職に関する科目、栄養教育に関する科目および「日本国憲法」、「スポーツ実技Ⅰ」、「スポーツ実技Ⅱ」、「総合英語Ⅰ」、「総合英語Ⅱ」、「情報リテラシー基礎」、「情報リテラシー応用」の7科目の単位取得が必要
    - ・2年次に履修することになっている「生徒指導論」、「教育心理学」は時間割の都合上、次年度（3年次）に履修すること。
    - ・「教育相談」は、栄養教諭2種免許状取得希望者は2年次に履修すること。中学校・高等学校1種（保健体育）免許状取得希望者は3年次に履修し、2年次は「体育・スポーツ原理」、を履修すること。
    - ・教職ガイダンス、教員採用試験対策講座説明会に参加すること。
  - ◇フードスペシャリスト（p.282-283）、健康運動実践指導者（p.284-285）、健康運動指導士（p.286）  
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（p.288）、障がい者スポーツ指導員（p.287）  
要卒科目、栄養士取得に必要な科目と重複するものもあるので、うまく組み合わせて履修すること。

#### 6. 栄養士実力認定試験について

- 栄養士実力認定試験：栄養士実力認定試験を3年次の12月に受験。  
受験準備のために課題を課すが、積極的に取り組むこと。詳細は追って連絡。

#### 7. 各教員の研究室、大学からの連絡について

- 個人研究室：教員への相談や質問がある場合は、シラバスのオフィスアワーの記載にしたがって来室すること。
- 食物栄養研究室：5号館1階 ☎ 075-325-5402  
基礎科学研究室：聞光館3階 ☎ 075-325-5431  
※緊急時に学科から連絡する場合があるため、☎登録しておくこと。
- 学科コモンズ前掲示：学科に関連する情報を掲示しているので、学内掲示板とあわせて定期的に確認する。
- 光華navi：大学や学科からの連絡に備え、携帯へのメール転送を必ず設定しておくこと。

#### 8. 専門教育ガイダンス資料についての質問

- ・質問がある場合は、食物栄養研究室にてメール（shoku@mail.koka.ac.jp）および電話（075-325-5402）で受け付けるので、早めに連絡すること。
- ・この資料の内容は、4月6日現在のものである。随時変更される可能性があるため、新しい情報については、naviやHPをこまめにチェックすること。